

2025年 12月 12日 作成

情報公開文書

当院の倫理委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となる方から同意を頂くことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。

なお、本件について拒否される場合やご質問がある場合は下記問い合わせ先までご連絡ください。

1. 実施内容	吃逆に対するメトクロプラミド錠、クロナゼパム錠、ガバペンチン錠、芍薬甘草湯の投与
2. 対象となる方	抗がん剤投与に伴う吃逆のある患者
3. 実施期間	承認日 2025年12月18日～永続的
4. 概要	<p>【目的・意義】</p> <p>日本では吃逆(しゃっくり)に対してクロルプロマジンが保険適応となっていますが、この薬を使っても、吃逆が止まらないことがあります。また、アレルギーやクロルプロマジンによる過鎮静のリスクが高く使用できない場合もあります。当院では、国内または国内外での吃逆の治療に関する文献で一定の効果が認められているメトクロプラミド錠、クロナゼパム錠、ガバペンチン錠、芍薬甘草湯のいずれかを、担当医が必要と判断した場合に限り使用します。</p> <p>【想定される不利益と対策】</p> <p>それぞれの薬を通常通り使用した際と同様の副作用が起こる可能性があります。副作用に十分注意しながら使用し、副作用が生じた際には投与を中止し、症状に応じた治療を行います。</p>
5. お問い合わせ先	マツダ(株) マツダ病院 倫理委員会事務局 電話：082-565-5000(代表)